

摂食嚥下機能の評価やリハビリのため、当センターで嚥下造影検査(VF)を実施された利用者様の情報を用いた医学的研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属：リハビリテーション部
職名：言語聴覚士
氏名：豊田隆茂

実務責任者 所属：リハビリテーション部
職名：言語聴覚士
氏名：豊田隆茂
連絡先電話番号：042-374-2612

このたび当センターでは、上記の検査を実施された利用者様の情報を用いた下記の医学系研究を、島田療育センター倫理・利益相反委員会ならびに院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することにより、利用者様への新たな負担は一切ありません。また利用者様のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究を望まれない利用者様は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2005 年 1 月 1 日より 2021 年 10 月 5 日までの間に、当センター外来および入所にて嚥下(飲み込み)の造影検査(VF)を受けた方

2 研究課題名

重症心身障害児者における食塊の嚥下時の舌骨および喉頭の動態特徴について

3 研究実施機関

島田療育センター リハビリテーション部
島田療育センターはちおうじ リハビリテーション科

4 本研究の意義、目的、方法

脳性麻痺をはじめとする重症心身障害児者の死因は呼吸器疾患、特に誤嚥性肺炎が多く、摂食嚥下に関わる障害は深刻です。

嚥下咽頭期における誤嚥の有無は、嚥下造影検査 (Videofluorography: 以下 VF) を用いることで評価が可能です。重症心身障害児者を対象とした過去の研究では嚥下中の誤嚥が多く報告されており、重症心身障害児者において嚥下中誤嚥に関わる動態特徴を明らかにすることは重要です。

本研究では、口腔機能が離乳期に留まる脳性麻痺を中心とした重症心身障害児者の VF 画像の解析から、誤嚥の有無と舌骨および喉頭の動態の関係性を検討することで、舌骨および喉頭の動態が嚥下の安全性にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを目的としています。

VF 動画から誤嚥の有無を評価し、誤嚥あり群と誤嚥なし群の 2 群間における摂食嚥下関連器官の動態と誤嚥の関係性を探ります。

5 協力をお願いする内容

診療録（カルテ）内容、検査データを閲覧し、研究に使用させていただきます。

6 本研究の実施期間

西暦 2021 年 10 月 5 日 ～ 2023 年 3 月 31 日 （予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う利用者様の個人情報（氏名、利用者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う利用者様の情報は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切分からない形で使用します。
- 3) 利用者様の個人情報と、匿名化した情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみ参照します。また、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) 連結情報は当センター内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開しません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

また、本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

豊田 隆茂（とよだ たかしげ）

島田療育センター リハビリテーション部 言語聴覚療法科

TEL : 042-374-2612 (9:00~17:45)

FAX : 042-374-2154

E メールアドレス : t.toyoda@shimada-ryoiku.or.jp